



# 愛西市

AISAI CITY  
ASSEMBLY

# 議会だより

No.38  
2014.11.1



立田北部小学校の運動会(あいさい写真クラブ提供)

人々が和み、  
心豊かに暮らすまち

9月定例会 審議結果と議員の賛否	2
議案質疑・討論・決算特別委員会	3
<b>ここが聞きたい</b> 一般質問	6
議会放映・レガッタ	15
議会活動日誌	16

発行/愛西市議会  
編集/議会広報特別委員会

〒496-8555  
愛知県愛西市稲葉町米野308番地  
TEL(0567)26-8111 FAX(0567)26-7141

# 平成26年9月定例会 議案審議の結果と議員の賛否

○：賛成 ●：反対

議案	審議結果	新生愛西クラブ							平成会				日本共産党 愛西市議団	公明党 あいさい	無所属						
		鷲野 聡明	大島 一郎	大島 功	堀田 清	島田 浩	神田 康史	杉村 義仁	近藤 武	大野 則男	山岡 幹雄	大宮 吉満	八木 一	鬼頭 勝治	真野 和久	加藤 敏彦	河合 克平	竹村 仁司	高松 幸雄	石崎 たか子	吉川 三津子
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	○	○	○	○
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	○	○	○	○
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
歯と口腔の健康づくり推進条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律及び母子及び寡婦福祉法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
佐屋西児童館の指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	○	○	○	●
市江児童館の指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	○	○	○	●
佐屋老人福祉センター「湯の花の里」、佐屋デイサービスセンターの指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	○	○	○	●
佐織老人福祉センター、佐織デイサービスセンターの指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	○	○	○	○
平成26年度一般会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●
平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度一般会計歳入歳出決算の認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	○	○	○	●
平成25年度土地取得特別会計歳入歳出決算の認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●
平成25年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	○	○	○	○
平成25年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	○	○	○	○
平成25年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	○	○	○	○
平成25年度農業集落排水事業等特別会計歳入歳出決算の認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	○	○	○	●
平成25年度水道事業会計決算の認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	○	○	○	○
定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
国の私学助成の増額と拡充に関する意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○

※(議)は議長で採決に加盟していません。  
 ※審議結果の表示は、(可)可決 (否)否決

# 9月定例会

## 条例制定

■ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

■ 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

■ 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

子ども・子育て新制度の施行に伴い、それぞれの事業の設備及び運営に関する基準を定めるものです。

質問 市内の保育園や幼稚園などの運営は変わらないのか。子どもや、保護者への

影響は。また、保育料の考え方は。

答弁 来年度から認定こども園等へ移行する施設はない。また、新規開業の相談もない。保護者への影響についてはほとんどない。

保育料は、算定の根拠が所得税額から市民税額に置きかわる。線引きが変わるので、昨年と同じ所得であっても変わる場合も出てくる。

3年ごとに見直しをしているので、今後、見直す必要もある。

質問 小規模事業C型では、行政の研修を修了すれば、保育士の資格がなくても可能になる。保育の質や安全の問題がどうか。

答弁 保健師や看護師を想定している。国の基準を採用する。

■ 歯と口腔の健康づくり推進条例の制定

市民の健康の保持増進と健康寿命の延伸に寄与することを目的に、歯と口腔の健康づくりに関する施策の基本事項を定めるものです。

質問 この時期に制定する理由は。

答弁 虫歯にかかった子どもは減少したが、近年は横ばいの状況。大人は、1人当たりの歯の本数の平均は減少している。県の平均と比べても愛西市は歯の本数が少ない。

より一層の歯の健康づくりの推進を図るため制定する。

## 指定管理の指定

佐屋西児童館

市江児童館

質問 今後、佐屋、永和児童館も指定管理者制度を導入していくとのことだが、虐待など子育ての孤立の問題があり、関係が希薄になる傾向が強い。どう対処するのか。

答弁 現在でも定期的に打ち合わせ、会議をしており、その場では、現状に即した様々な意見もあり、情報交換等もしている。今後も進めていきたい。

■ 佐屋老人福祉センター「湯の花の里」、佐屋デイサービスセンター

■ 佐織老人福祉センター、佐織デイサービスセンター

質問 老人福祉センターにおいては、持参金つきで無料で施設を提供し、そして介護サービスが実施されている。民間の事業者にとっては大変不公平な状況では。

答弁 デイサービスセンターについては、今回から指定管理料の対象からは外れている。

## 平成25年度補正予算

■ 一般会計補正予算

補正額 1億3千89万3千円  
総額 249億8千833万4千円

主な内容は、水痘及び高齢者肺炎球菌感染症の個別予防接種に係る経費、土木関係で企業誘致に係る埋蔵文化財調査委託料、総合庁舎建設等に係る道路拡幅費用、中学校4校の屋内運動場非構造部材耐震工事の実設計委託料などです。

質問 水痘と肺炎球菌予防接種について、今の市のとりくみは。新たに国の制度で、どのような形になるのか。

答弁 水痘予防接種は、市は実施していない。高齢者

肺炎球菌予防接種は、平成24年5月から70歳以上を対象に、1人1回3,000円を助成している。

平成27年度は国の制度のとおり、水痘は1歳、2歳を対象、高齢者肺炎球菌は、65歳から100歳まで5歳刻みの節目年齢を対象として予防接種を実施する。

■ 後期高齢者医療特別会計補正予算

補正額 303万5千円  
総額 6億9千857万5千円

■ 介護保険特別会計補正予算

補正額 1千423万円  
総額 42億9千853万8千円

■ 公共下水道事業特別会計補正予算

補正額 160万円  
総額 16億4千964万5千円

討論

■ 特定教育・保育施設及

び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

賛成

制定を急がねばならないこと、現在、子ども子育て会議で、議論が重ねられている最中であり、今後、実情に合わせて改正をしていく旨が確認でき、保育料も今回は値上

反対

げを見送る旨が確認できた。新制度では、上乗せ、実費負担など保育料が違い、収入による保育格差が生じることが予想される。価格競争が進み、人件費圧縮のため非正規化が進む可能性もあり、保育の質が悪くなる可能性がある。

平成25年度決算

どう使った？みんなの税金！

決算認定は、すでに支出は終わっているものの、議会が問題点を指摘することにより、次年度の事業の改善につながる大切な審議です。

平成25年度決算認定について

■ 一般会計

〈総務〉

質問 コミュニティFM

放送運営事業で、課題に対して、市町村の連絡協議会は

どのような調整をしているのか。

答弁 電波が入らないことについて改善するよう要望した。また、年度末には決算処理等の審査を行っている。防災放送の内容についても担当者と協議へ提言していく。

質問 災害用の備蓄品の

アレルギー対策は。

答弁 アルファ米の中にアレルギー対応のワカメご飯等も準備している。

質問 自治基本条例制定

支援委託事業で、この条例をいつ制定する考えで進めているのか。

答弁 現在、素案を愛知県に法制執務の観点から見直しをお願いしている。できる限り早い段階で上程がしたい。

〈文教・福祉〉

質問 災害時要援護者

登録確認事業で登録者の人

数は。

答弁 平成25年6月30日現在の状況では、要支援者7千622名の内、支援を要すると回答をもらっているのが5千660名で、その内支援がない人が3千983名。

質問 正規の保育士が減

少していることについての評価は。

保護児童事業の対象児童数の推移は。

4千272人となった。さらに投資する考えはない。

帯。年々少なくなっている。

### ■農業集落排水事業特別会計

**質問** 施設管理事業の業務委託は、愛西市委託業務監督及び検査要領に基づき実施しているか。

**回答** 業者等の報告で確認しており、完了検査の内容を精査し実施している。

路の付け替え、小学校校舎等のガラス飛散防止工事、防災備蓄整備事業や、児童館・子育て支援センターの増設・改修等市民の日々の生活に関連する事業が実施された。歳入は年々厳しくなる。より一層の独自歳入確保の努力を。歳出では、限られた財源の中でできる限り市民に喜ばれるサービスの提供と持続可能な行政運営をお願いする。

### 反対

公共施設の再配置には賛成だが、庁舎建設は過大だ。また、放課後子ども教室の利用希望が多いにも関わらず廃止を決めたのも問題。

総合斎苑セレモニーホール

の利用率が低いことや、防災情報発信を目的としたFMななみも、目的を果たしているとは言えないなど、本会議や決算特別委員会で明らかにした。次年度予算案で十分見直されることを要望し、反対する。

## 討論

### ■平成25年度一般会計決算

#### 賛成

駐車場拡幅用地買収、排水

4千272人となった。

**質問** 畜産業者が減っているが現状は。

**回答** 畜産業者は養豚が7件、養鶏が2件、牛が7件の計16件。年々減少傾向だ。

**質問** 農地・水保全管理

支払事業の共同活動と向上活動のそれぞれの活動は。

**回答** 共同活動の主な活動は水路の草刈り、ドロ上げ、施設の点検で、向上活動は水路の改修である。

### ■国民健康保険特別会計

**質問** 滞納世帯数と金額

は年々増えているのか。

**回答** 滞納額は、平成23年度約4億9千万円、24年度約4億8千万円、25年度約4億6千万円。世帯数は平成23年度1千167世帯、24年度1千151世帯、25年度1千52世

保護児童事業の対象児童数の推移は。

**回答** 平成23年は523人(8%)、24年が537人(9%)、25年が501人(8%)と横ばいとなっている。

**質問** ゴミ収集運搬委託

で、計画通りの人数で収集がされていないが、過大な車代の支払いがあったが、どのように改善したか。

**回答** 人数の改善をさせ、現実に見合った車代の支払いに改めた。

### 〈経済・建設〉

**質問** 勝幡駅周辺整備事業

の評価は。今後の投資の予定は。

**回答** 駅前広場等の整備で歩行者や自転車などが安全に行けるようになった。1日平均乗降者数は、整備前推計4千158人が平成25年実績で

少していることについての評価は。

**回答** 保育士を計画的に採用する方針をたてている。

**質問** 学校給食費残滓処理委託料約6万円増となった理由は。

**回答** 年度当初は、残菜リサイクル業務の形で委託したが、年度途中で解釈上廃棄物処理として当たったほうがよいということ、委託方法を変更し許可処理業者の委託にした。

にした。

**質問** 永和小学校の備品購入費に金額が載っていない理由は。

**回答** 永和小学校への個人的な寄付が3千万円あったため、この年は要望がなかった。

**質問** 子どもの貧困が社会問題になっているが、進要

## 地域ブランド化をつくり出す



竹村 仁司 議員

**質問**  
市農産物のPR「ぐるぐる農産物」のステッカー作成に至った経緯と、現在の認定農家、これまでの取り組み、また今後のPR活動は。

**経済建設部長**  
ステッカーの作成に至ったのは、NPO法人田園社会プロジェクトが、市に対して「おいしい島のウーさま」をPRしてきたのがきっかけだ。漫画の内容は、食と環境の重要性が描かれ、それが農業に通じるものとなっている。農業の重要性を伝えるということ

で、ステッカーが誕生した。

このステッカーが使用できる農家は、県が認定するエコファーマー、または有機農業に取り組み農家となっております。現在その対象農家は76名で、ステッカーを活用している農家は19名。今後も市と農家が協力し合い、今まで以上に消費者にPRしていきたい。

**質問**

これまでの販路先は。また職員が販路先に出向くことは。

**経済建設部長**

県を巻き込んだブランド化に向けた展開については、昨年11月に、市の農家を応援するコラボ企画の「弾」として、丸栄で開催した「あいちの農林水産フェア」に参加し、ぐるぐる農産物のステッカーを貼付したレンコンを販売した。その後、市のホームページにも掲載した。

現在までに確認した販路先としては、市内では、道の駅の産直施設や、JAグリーンセンターなどで多く販売され、消費者から安心・安全の証明とあっていただいている。このステッカーの貼付による販路先については、直接農家に聞いたり、職員が店舗に出向き確認をしている。今後、エコファーマーの周知に努めたい。

**質問**

小学校5年生を対象とした学習教材「アグリぐるぐるスクール」の利用方法は。

**経済建設部長**

学習教材「アグリぐるぐるスクール」は、子どもたちに

市のことをもっと知ってもらうため、農業の重要性、田んぼの必要性、地産地消をキーワードとして作成をした。

出前授業は、3小学校で実施している。9月の末には、永和小学校で実施する予定。

農地、農業の重要性を黒板に張り出し、漫画の「おいしい島のウーさま」の解説、児童からの質問を受け、そして、重要な農地を守るために、自



▲ぐるぐる農産物シール

分たちができるといふことで、地産地消の話をします。

子どもたちが、自分たちの役割がわかれば郷土愛が生まれ、自分たちの住んでいるまちがもっと好きになるといふことを最大のテーマとして、出前授業を実施している。

今後、教育委員会と連携しながら、市内全ての小学校で出前授業の実施をしていきたい。

## 補助金の現状と自治会に活動支援

### 質問

市の補助団体にどのような基準で金額を決定しているのか。

### 企画部長

補助金交付要綱を定め審査・検証している。

### 質問

繰越金なども多額の補助団体もある中、地方自治法第138条4の第3項に基づき市も第三者審査会を設け、審査会で意見をまとめ意見書を市長に答申すべきでは。

### 企画部長

外部審査については、今後の重要な課題である。

### 質問

平成28年度からは交付税が減額され、財源も厳しくなるが、各種団体への補助金の見直しの考えがあるか否か。

### 企画部長

市の単独補助金について、有効性を検証し、見直していく。

### 質問

市が各自治会、町内会の活

動を支援するために、どのような補助をしているか。

### 総務部長

町内会のイベント、社会教育的な事業に対して、補助している。

### 質問

他市では、道路清掃活動、定期的に清掃を行う団体、町内で資源物の回収活動に補助のガイドブックがあるが、これを作成できないか。

### 総務部長

町内会活動が活発になるようガイドブックの策定について考える。

### 質問

市の財政が緊迫している状況の中で、補助の必要性や額などを見直すべき時代だと私は考えるが、市長の考えは。

### 市長

市長選挙のマニフェストの一つとして掲げており、市の現状をしっかりと把握をして見直しも当然検討していく。

## 優良農地の登録制度導入

### 質問

市では農業従事者の高齢化が進み、農業従事者の意欲も減退している。農地の耕作放棄地、遊休農地の畑がふえる。その対策は。

### 経済建設部長

高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加などの問題は人・農地プランを策定し、諸問題解決に取り組んでいる。

### 質問

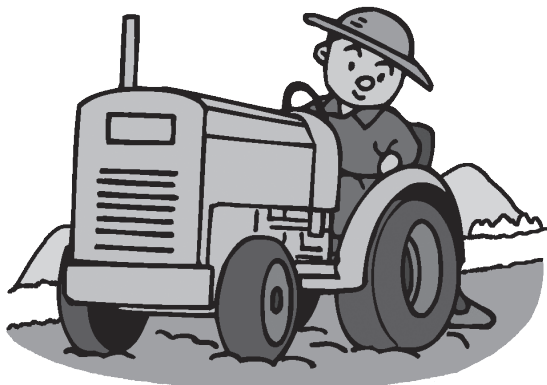
耕作できない農地を登録制度にして、情報を管理し耕作放棄地を防ぐ自治体もあるが、市の農地管理は。

### 経済建設部長

議員の言われる制度を勉強し、耕作放棄地防止対策について検討していく。



山岡 幹雄 議員





大島 一郎 議員

## 不祥事再発防止に向けて

### 質問

市になってから、いろいろな不祥事が新聞に載ったため、市民が心配している点もあると思う。そこで平成25年度の市職員が窓口で取り扱った現金の総額、種類と件数は。

### 会計管理者兼会計室長

市職員による窓口での取扱金額は22億6千954万8千771円、取扱件数は16万7千173件であり、主な内容は、市税、国民健康保険税と後期高齢者医療保険料、診療収入、介護保険料、介護サービス収入、農業集落排水、下水道事業の

分担金と負担金、水道料、その他各種使用料と手数料がある。

### 質問

受け取りをした現金の管理とチェックについての体制はどのようになっているのか。

### 会計管理者兼会計室長

会計室では、前日の午後と翌日の午前に入金のあった市税は、午後1時半に2名で納入済通知書などと現金を確認し、指定金融機関に入金している。午後の方は、終業時の5時15分過ぎに2名で納入済

通知書などと現金の確認を行い、翌日午後1時半に2名で納入済通知書などと現金を確認し、指定金融機関に入金している。

### 質問

現金の過不足が生じた場合の処理方法は。

### 会計管理者兼会計室長

加算機の入力漏れ、納入済通知書の取り忘れ、領収書の記入漏れなどもあるが、その日の徴収金全てのチェックを行い、現金と納入済通知書の不一致の原因を追求している。

### 質問

新聞報道にあった不祥事件の関係で、市関係各種団体、任意団体の現金と預金の管理について尋ねる。事件前における市職員が取り扱っていた団体数と件数は。

### 監査委員事務局長

昨年度、各種団体のお金を取り扱っていた部署は21カ所、会計事務を取り扱っていた団体数は61団体である。

### 質問

不祥事件後に行われた改善内容は。

### 会計管理者兼会計室長

再発防止のための取り組みとしては、公金取り扱いについて、統一的なルールによる手続きや処理を行うための指針となる愛西市公金等取扱事務マニュアルを7月に作成した。また、準公金の取り扱い

### 質問

についても、愛西市準公金取扱規程を6月に作成した。

各部署の失敗例をまとめて皆で共有することが大切では。

### 副市長

公金の取り扱いについては、各課でそれぞれ関係マニュアルを作成し、素早く再発防止に向けて取り組んだ。





# 安全な佐屋駅整備の実現を

## 質問

今年3月の予備調査報告書から、半年たっているが、現在までに進めていることや、関係機関と協議したことはあるか。

## 経済建設部長

雨降りなどいろいろな機会に、現地へも出向いて確認はしている。その中で、県道佐屋・多度線については、踏切をまたいで南側に駐輪場、東側に駐輪場という状況であり、何とか少しでも安全対策ができないかと、海部建設事務所をお願いしている。

## 質問

駅の整備を、藤浪駅、勝幡駅ともう2回も取り組んだ。市の職員は、そのノウハウを大いに生かして、安全な佐屋駅が早急に実現されるよう求める。

安全性の向上や公共交通の利便性の向上、また観光の振興などに関わる佐屋駅の整備は急務だが。

## 市長

機会があるごとに、関係機関に対して要望している。県道については安全性の確保を



河合克平 議員

要望している。今後は、名鉄に対し、今後の佐屋駅についての計画があるのか聞いていく。

# 新庁舎周辺の通学路の安全確保を

## 質問

平成24年6月議会的一般質問で、通学路の危険箇所把握はそれぞれの学校に任せ、集約していないとの回答があったが、現在の状況は。

## 教育部長

24年以後、25年に緊急の合同点検を実施した。その合同点検の中で、今後の整備の計画を立てた。危険箇所とされた場所の通学路に「学童に注意」という黄色い看板を15カ所設置し、歩道のない通学路にはカラー舗装を14カ所行った。

## 質問

庁舎統合により、本庁舎は、1日あたり約1000人の来庁者になり、300人の職員が増

える。考えつかない危険な状況となるのでは。

## 教育部長

現状の通学路としては、より一層注意しなければならぬと認識している。全体的に交通量が増えれば、危険であると認識している。

## 質問

職員の通勤路の見直しや制限など、危険箇所をできるだけ通らないように通勤するよう検討をしてはどうか。

## 総務部長

正規職員、臨時職員あわせて約200人の車両通勤者が増えると想定している。通学時間帯も危険箇所を勘案し、職員の通勤経路の設定を柔軟に対応していくことも必要と考えている。当然、職員に対し、児童・生徒に対する安全意識は徹底していく。



## 平和行政の推進を



加藤 敏彦 議員

### 質問

安倍首相は、閣議決定で、現行憲法のもとでも集団的自衛権の行使容認ができるとの見解を表明した。日本の平和の在り方について「戦争できる国」に変える重大な変更である。

長崎市の平和祈念式典で、被爆者の代表は「日本国憲法を踏みじった暴挙です」と述べた。弥富市長は、「集団的自衛権の行使という憲法第9条の解釈改憲を急ぐことに、甚だ疑問を持っている。…私は、第9条を守っていきたい」と考える」と一般質問で

### 答弁している。

集団的自衛権について、市長はどのような見解をもっているか。

### 市長

集団的自衛権は、外交上、防衛上の重要な問題であり、世界的な平和をいかに実現していくかという観点から、国政の場において十分に議論されるべきである。

私自身としては、愛西市は非核・平和都市宣言をしており、世界平和を願っている。

### 質問

日本原水爆被害者団体協議会は、原爆パネル「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」をあらゆる地域でより多くの人に見てもらい、核兵器をなくすための世論が広がることを願っている。

愛西市でも購入し、平和作品展や市の施設や学校で積極的な展示をしてほしいが。

### 福祉部長

市の保有するパネルは随分古くなっていてるので、パネル購入に向けて検討している。

## ゼロメートル地域の防災対策を

### 質問

防災コミュニケーションセンターについて、まだ佐屋北部地区や八開地区の整備が終わっていない状況である。どのように計画を進めるか。

### 企画部長

市の大きな方向性としては、できるだけ新たな建物はつくらず、既存の施設は有効に活用する方向で、総合的に

### 検討したいと考えている。

### 質問

海抜ゼロメートル地域の避難場所の確保についてどのように考えているか。公共施設、民間施設の状況はどうか。

各地で「命の丘」として高台の整備に取り組んでいるが、永和荘の跡地、佐屋総合運動場についてはどうか。

### 総務部長

1次避難所として中学校6校と農業改善センター、2次避難所として47施設を指定している。また、民間避難ビルについては、10施設と協定を結んでいる。

「命の丘」の高台整備については、考えていない。



▲原爆ドーム

## 浸水被害・避難対策をしっかりと

### 質問

5月の県の被害予測で、理論上最大値で浸水被害死者800人増となった理由は。

### 総務部長

津波の河川遡上よりも先に、堤防高が一律75%沈降し、満潮位を想定した河川水位による堤防内の水が一気に住宅地へ流れ込み浸水する、想定し難い非常に厳しい条件で予測された。建物や家具の下敷きで自力脱出困難が200人、避難途中に浸水に巻き込まれることによる死者が600人を想定。この予測は、発生頻度が

1000年に一度以下のもの。

### 質問

日光川など実際に堤防沈降による浸水被害はないと考えるか。

### 総務部長

日光川堤防は、地盤改良や矢板などの対策が進められているが、今回の予測には考慮されていない。平成21年までに緊急性の高い7kmを改修した。今後、本年中に「第3次地震対策アクションプラン」  
として対策区間を設定し、来

年度より対策工事を行っているということだ。

### 質問

海抜ゼロメートル地域での防災意識を高めるため、「海抜表示をもっと身近なところ  
にほしい」という声がある。

清須市では防犯灯に海抜や堤防の高さを示していることがニュースで紹介されたが、愛西市でも行っては。

### 総務部長

清須市の自主防災会が独自に防犯灯の支柱に地盤から30cmにマーキングし、道路冠水による垂直避難の目安として活用するなどしている。地域から相談があれば、協力を惜しまない。

## 有効な野良猫対策を

### 質問

「庭の花壇が荒らされる。糞尿をされて困る」「野良猫に餌をやる人がいるのでやめさせて」と相談があった。餌い猫の徘徊、野良猫対策は。また、餌い主や野良猫への餌やりへの注意、啓発は。

### 市民生活部長

関係する地区と協議し、「ちらし」の回覧や看板を設置する。餌やりをしている人が特定できれば、愛知県動物保護管理センター尾張支所と共に指導する。また、定期的に広報紙で啓発している。

### 質問

野良猫を減らすため、「地域猫活動」を進める考えは。<sup>\*</sup>

### 市民生活部長

まず、地域住民の意見が「野良猫を地域ぐるみで適切に管理飼育」することで、まとまること。市としてこの事業を進めていきたい。

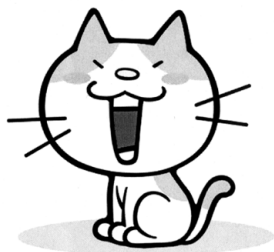
### ※地域猫活動

地域住民が協力して、不妊手術、餌やり・トイレの設置・管理などを行い、今いる野良猫を地域で飼養し、徐々に頭数を減らしていく活動。



真野和久 議員

ネコに迷惑しています!



- 猫を捨てないで
- 猫にエサを与えないで
- ペットのフンは飼い主の責任

愛西市

▲猫の注意看板



高松幸雄 議員

## 安心な地域づくりを

### 質問

昨今、子どもや女性、高齢者が狙われる犯罪が多発している。日比野駅と永和駅に犯罪を防ぐ防犯カメラの設置が必要ではないか。

### 総務部長

日比野駅には寄附の申し出があったので設置をする。永和駅は看板などで注意喚起していく。

### 質問

津島市では町内会などで防犯カメラを設置する場合、市が一部補助する制度を始めた

が、愛西市でも導入しては。

### 総務部長

県内の自治体17市で補助制度があるが、補助率とか、補助の上限や維持管理費などの課題が多い。今後、他市の成果状況を参考に考えていく。

### 質問

小学校低学年の母親から、「通学途中に不審者が出没するので心配だ」と相談があった。低学年の通学にスクールガードや見守り隊が同行できないか。

### 教育部長

一斉下校には先生が下校指導をするが、今後はスクールガードや見守り隊に協力をお願いしていく。

### 質問

災害時、学校校舎屋上階への避難体制は。

### 教育部長

地震発生後の浸水や河川の氾濫などを想定し、学校では校舎の最上階へ逃げる避難訓練は実施している。学校施設は、安全対策上、児童・生徒の転落防止のため、簡単に屋上へは行けない構造になっている。また、屋上には配管などがあり危険な状態であるので、現時点では避難場所としての考えはない。

### 質問

市内には高層の建物が少ないため、地域住民から学校校舎屋上へ避難の要望がある。浸水や河川の氾濫など災害で、生きるか死ぬかの非常事態の場合はどうするか。

### 教育部長

生きるか死ぬかという状況の場合は当然、臨機応変な対応が必要だ。

## 高齢者の活動づくりを

### 質問

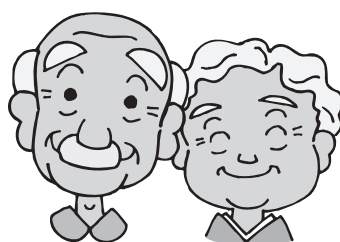
65歳以上の高齢者が社会参加や地域貢献になるボランティア活動をした場合に自治体からポイントが付与され、貯まったポイントに応じて商品との交換や介護保険料支払いなどに利用できる制度を導入しては。

### 福祉部長

介護支援ボランティア活動は高齢者が生きがいを持ち、介護予防、健康づくりを推進する重要な役割だ。今後は、他の自治体の状況を勉強しながら見極めていく。

### その他の質問

・実践的な避難訓練の導入を  
・介護予防対策について



# 愛西市を守り抜く対策

## 質問

市は防災・防犯に総合的な観点で、取り組んでいるか。日光川の危険を市単独で国・県に訴えているか。防災の観点で、危険な水路を市はどう考えているか。

## 経済建設部長

毎年愛知県に要望している。国土交通省にも、地元県会議員を通じて早期完成に向けて要望している。津島市と情報を共有し、対策を検討していく。

危険な水路について、単独でボックス化は費用が大変か

かる。土地改良区に有利な補助事業を利用すべきと提案したが、理事長以下、事務局と調整が取れなかったのは事実だ。

## 質問

防災に対する意識高揚であるが、特に大切なのは、自主防災会のリーダーの意識高揚だ。防災への地域間の温度差を考え、何らかの方法で、リーダー育成のための機会を設けては。

## 総務部長

自主防災会のリーダーに



大野 則男 議員

は、重要な役割を担ってもらっている。一人ひとりが防災意識を持つことが重要だ。年一回の防災講演会に積極的に参加依頼をしていきたい。一度総代会で意見を聞く。

## 質問

市全体を考えて、順次災害特区を設定し、予算を集中して使う形は考えられないか。

## 総務部長

市独自の特区を設ける考えは持っていない。特区という縛りの中で、一律、画一的にやるということは無理だ。

## 質問

頑張つて農業をしている団体に積極的に外向き情報を収集して、新しい画期的な行動をしていく考えは。

また、農業振興計画を作るべきだが。

## 経済建設部長

農業が抱える問題として、高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加などの問題がある。

人・農地プランを作成し、

## 経済建設部長

特化した企業を、地産地消農業の関連で誘致することは、市としても農家にとっても有意義と考える。具体的にあれば、立地に向かって進めていきたい。





吉川三津子 議員

## 改善せよ 給食に腐った野菜の入荷

### 質問

学校給食に、鮮度の悪い野菜が入荷されている。野菜は鮮度が命。鮮度が悪ければ栄養価も落ち、給食を作る上で支障も出る。最近の状況は。

### 教育部長

毎朝、業者が搬入し、数量や賞味期限を確認している。最近の事例は、以下の通りであり、返品や交換したり、洗って使用した。

《1月、1社・3品目不良》  
ジャガ芋にカビ。キュウリが腐敗。キャベツにカビ。  
《2月、3社・3品目不良》

赤ピーマンが腐敗。ホウレンソウに汚れ。芽キャベツが規格外の大きさ。

《3月、1社・1品目不良》  
キュウリの中が白くなっていた。

《4月、1社・1品目不良》  
玉ねぎが腐って溶けてる。

《5月、1社・1品目不良》  
パセリの一部に虫が多い。

《6月、1社・1品目不良》  
ホウレンソウの一部に虫が多い。

### 質問

不良品の入荷を繰り返す業者には、ペナルティを科すべきでは。

### 教育部長

今まで明確な処分規定を定めていなかったが、9月より規定を作成し、業者に周知した。

### 質問

1ヶ月半前に入札をし、のちに業者は安いときに野菜を競り落とし、冷蔵庫に保管している。鮮度に問題が起きるのは当然であり、物資選定の仕方を改めるべきでは。

### 教育部長

安全でよい食材を供給できるように、良い方向に進める。



## 市江児童クラブは学校空き教室で

### 質問

市江児童館での児童クラブは、学校から遠い。学校の空き教室での実施にどう取り組んできたか。

### 福祉部長

検討してきたが、結果として現状のままということになっており、下校指導や交通安全の話も多くしている。

### 質問

天候も不安定で、落雷の危険もあるが、周辺には避難できる民家もない。1、2年生だけの集団下校もあり、特に学校の東地区の方は、こんな状況なら家で留守番をさせようとおきらめムードになっている。

また、児童一人あたりの利用回数を調べたが、西川端小は年間21.8回。市江小は最低で13.2回と利用率が低い。女性の就労や、子どもの放課後の安全を奪っている。問題だという認識はないのか。

### 福祉部長

道のりが長く、道中に民家がないことは認識しており、利用しにくい話は聞いているが、必ずしも学校の近くにある必要はない。道のりが長いのは、いた仕方ない。

### その他の質問

・出張時の日当廃止を  
・介護要支援者を守れ 他

# 来年6月議会から議会放映開始 クローバーチャンネルで一般質問

9月28日の議会運営委員会で、平成27年6月議会から議会中継を行う中身について決定しました。昨年度、議会広報特別委員会が素案をまとめ、提案しましたが、今年4月の改選後に検討することになっていました。

改選後、新議長から、平成27年6月議会からの実施に向け、議会広報特別委員会へ提起され、内容を再検討し、議会全員協議会、議会運営委員会に提案しました。

## 放映方法

クローバーチャンネルによる録画放送  
(統合庁舎内ロビー等での生放送含む)

## 放映内容

本会議 一般質問(2日間)

## 放映時期

録画を後日、昼夜の2回放映  
原則1日目と2日目は間をあけない

## 第19回 デ・レーケ記念交流レガッタ



9月14日(日)、岐阜県海津市の長良川国際レガッタコースにて開催されましたデ・レーケ記念交流レガッタ議員の部において、当市議会のAチームとBチームが第1位と第3位となりました。

**第1位** Aチーム (大宮吉満・鷺野聡明・鬼頭勝治・島田 浩・山岡幹雄)

**第3位** Bチーム (真野和久・近藤 武・河合克平・高松幸雄・神田康史)

# 議会活動日誌

26年 8月	
5日	海部南部水道企業団議会定例会
6日~7日	全国市議会議長会研究フォーラム(岡山県倉敷市)
12日	庁舎建設等調査特別委員会
14日	議会広報特別委員会
19日	議会活性化協議会
26日	議会運営委員会
26年 9月	
2日	9月議会定例会(9月26日まで)
	全員協議会
3日	敬老会
12日	議会広報特別委員会
14日	デ・レーケ記念交流レガッタ大会(海津市)
16日	総務委員会
17日	文教福祉委員会

18日	経済建設委員会
22日	決算特別委員会
26日	議会運営委員会
	全員協議会
	議会広報特別委員会
26年 10月	
3日	議会広報特別委員会
8日~10日	全国都市問題会議(高知県高知市)
9日	議会広報特別委員会
14日	海部地区水防事務組合議会定例会
16日	議会広報特別委員会
21日~22日	文教福祉委員会行政視察(長野県千曲市、岡谷市)
23日~24日	総務委員会行政視察(岡山県倉敷市、備前市)
27日~28日	経済建設委員会行政視察(長野県安曇野市、塩尻市)

## 平成26年12月定例会の開催日程 (予定)

12月定例会は、  
**11月28日(金)から12月22日(月)**  
までの会期で開催予定です。

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

11月28日(金)	本会議(第1日)
12月 4日(木)	本会議(第2日)一般質問
12月 5日(金)	本会議(第3日)一般質問
12月10日(水)	本会議(第4日)議案質疑
12月15日(月)	経済建設委員会
12月16日(火)	文教福祉委員会
12月17日(水)	総務委員会
12月22日(月)	本会議(最終日)討論・表決

### 編集後記

暑かった夏もようやく終わり、過ごしやすい季節となりました。今年も東北や西日本を中心に過去に経験したことのない記録的な豪雨に見舞われ、洪水の被害も多く発生しました。市民の皆様におかれましては、日頃から災害に対する意識を高めてくださるようお願い申し上げます。

議会広報委員会は、市政に関し、より高い関心を多くの方々に持っていただくため、読みやすく親しみやすい議会だよりを届けようと、話し合いを重ねています。

「議会だより」について、多くの皆様のご意見やご感想をお待ちしておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

(山岡 幹雄 記)

委員長	真野 和久
副委員長	吉川 三津子
委員	山岡 幹雄
	島田 浩
	神田 康史
	高松 幸雄